香友会だより

ごあいさつ

同窓会会長
谷本　智昭

香友会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より香友会並びに母校のためにご理解とご尽力を賜り心からお礼申し上げます。

母校の創立百周年記念事業のひとつとして整備した記念庭園ですが、今年四月の入学式に出席した折、よく観るとソテツも濃い緑の葉が茂り元気がよくやや大きくなった感じがしました。移植がうまくいったからではないでしょうか。

また、記念モニュメント周辺の庭木も今は芽吹きの時季で、五月頃には新緑がまぶしいことでしょう。風通しのよい木の下にベンチを配置していますので、生徒さんたちの憩いの場として大いに活用して頂ければと思います。

さらに、この庭園にヒマラヤスギが近いうちに加わります。ソテツからは少し離してその西隣に移植する計画です。この移植の話が持ち上がった背景には、母校の建物の老朽化に伴う第一校舎と第二校舎の全面的な改築案が提起されたためです。設計上残すことが難しいため、学校側から同窓会に相談があり伐採か移植かで協議を重ね、最終的には二本のうち一本を移植することとしました。

このヒマラヤスギは、母校創立直後に植樹されたようで、母校のシンボルの木とも言えます。移植に当たり根の活着をよくするため、昨春専門家の意見も聴いて環状除皮を行っています。

つぎに、香友会の会員数は、今年三月卒業の皆様二百五十八名を新会員として迎え、総数は現在三万八千余名となっています。ここで同窓会入会式について述べてみます。入会式は毎年卒業式の前日に行い、会長あいさつがあります。その要旨として―①同窓会の名称は「香友会」で会として皆様の入会を大変うれしく、心から歓迎する②母校は普通科のほか多くの専門学科をもつ大規模な高校であり、卒業生は幅広い分野で活躍されている③その具体例として、母校の百周年記念事業で、記念モニュメントの制作や記念庭園の整備事業、記念し「百年史」の通史の執筆、式典当日のジョイントコンサートの司会など卒業生の方々に大変お世話になった④会の設立目的は「会員相互の親睦と母校の発展を図る」ことであり、目的達成のため支部組織をつくり活動している。関東支部、関西支部、県内には多くの支部がある。新会員の皆様には、支部から入会や協力依頼があれば母校を支援頂く意味で協力願いたい―を話題としています。

香友会を更に盛り上げるため、若い皆様が支部に所属し活動されますよう切に願っています。

最後に、会員皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げごあいさつといたします。

ごあいさつ

校　長
溝渕　祥民

夏至から数えて十一日目が半夏生。たっぷりと水が張られた田に緑の苗がそよぐなか農家の人たちが休息をとる時節に、今年も香友会だよりをお届けする運びとなりました。会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は、高松南高等学校の教育に深いご理解と多大のご支援をいただき、厚くお礼を申しあげます。

さて、本校では、本年四月より、いよいよ校舎の全面改築が始まりました。第一期工事として、第一校舎の中央棟を含んだ西半分を撤去し、そこに新たな三階建の校舎を建設するものです。今夏には、南高のシンボルとも言えるヒマラヤスギの移植も行いながら、竣工予定は来年秋。その後の第二期工事で、第一校舎の残り東半分を撤去し、対となる校舎を新築した後、第二校舎を撤去いたします。なお、この間に食堂棟の建替えも行うこととしています。

今春から重機が入って地面を掘り返し始めますと、たちまち十cmから二十cm程度大の丸みを帯びた「石ころ」がごろごろ出てきました。我が学び舎の立つ大地は、今でこそ香東川の右岸に在りますが、阿讃山脈に源を発するその川は、江戸時代初頭まで、香川町大野辺りで二つに分かれ、その本流は一宮から現在の栗林公園付近を通って玉藻城の西で瀬戸内海に注いでいたようです。歴史を紐解けば、一六三七年、西嶋八兵衛により、本流が当時の分流であった現在の水路に切り替えられたことが記されています。

水は、容器に合わせて柔軟に姿を変えながら目立たない低いところに位置します。天から降る雨は、人間が地表に作った水路を流れるよりもはるかに多くの量が地面に浸み入って、時間をかけて海へと向かいつつ万物に恵みを施します。古代より香東川によって堆積された豊饒な地質に加え、地下には水路の付替えにもかかわらずゆったりと水が流れ行き、学校近辺にはそれが湧きだす井泉も見られます。田村神社は、水を祀る水神信仰を基盤とする神社であり、その奥殿は深淵の上に建てられている、とも聞きます。

今年から始まる校舎改築を機に、このような伝承も含め、人為を超える自然の力や、水の如く柔和で謙虚な生き方をも、生徒たちには知ってもらいたいものです。

終わりになりましたが、香友会のさらなるご発展をお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。

発行者
香川県立高松南高等学校
同窓会会長　谷本智昭
香川県高松市一宮町531
印刷所　㈱中央印刷所